

# 調査団報告書

調査No.49

## 調査内容

中村区と中川区の間に、鉄道の上をこえる橋があります。「黄金（こがね）橋」という名前なのですが、橋のかかっている場所の地名は「黄金（おうごん）通」です。「おうごん」と「こがね」。一体、どちらの読み方が正しいのでしょうか？

## 調査手順

まずは『名古屋の町名』で黄金通を調べてみた。稲が良く育って黄金色で埋め尽くされていたから、というのが由来のようだ。読みは「おうごん」で正しいみたいだなあ。続いて、土木関係の雑誌で橋の名前を調べてみる。橋の正式名称は「黄金跨線橋（こがねこせんきょう）」というようだ。ということは、どちらも正しいの!?

## 調査結果

黄金通の地名は昭和14年6月1日の町名改称告示で「おうごん」の読みで登録された。地図やHPインターネットで調べると橋だけでなく近隣の黄金駅や黄金中学校は「こがね」読みだった。さらに調査を進めると地元では「こがねどおり」と呼ばれており、正式な読みを「こがね」に変えて欲しいという市民の意見もあることがわかった。追記：平成29年6月13日、住民の要望活動によって町名が「おうごんどおり」から「こがねどおり」に変更された。

今回の調査で使った資料

『なごやの町名』名古屋市計画局／[編] 名古屋市計画局 1992 p252

『黄金跨線道路橋の架設工事』土木施工 1986年7月号 p81～88

『地名さんぽ 黄金通(名古屋市中村区)』中日新聞平成27年7月18日 朝刊尾張総合 p23

『黄金通りの呼称について』(市民の声 27年5月)<http://www.city.nagoya.jp/shiminkeizai/page/00000071839.html>  
(平成28年11月19日確認)

『なじみの「こがね」正式名に』中日新聞平成29年5月26日 朝刊市民版 p16



作成：名古屋市図書館 名古屋なんでも調査団